

# 奨学生募集について

## 1. 趣 旨

本財団は、奨学援助の方法により、次世代を担う人材の育成を図るため、経済上の理由により大学に進学が困難な事情にある方に、大学在学の期間（大学における正規の最短修業年限まで）、奨学金を支給します。

この奨学金は、返済の義務はなく、将来の就職等についても、何等の義務もありません。

## 2. 応募資格

学校教育法による富山県内の高等学校（公、私立の全日制・定時制・通信制のいずれでも可）に在学し、2022年3月卒業見込みの人物・学力ともによぐれ、かつ向上心に燃えているが、経済上の理由により大学に進学が困難な事情にある者であれば、国籍に関係なく応募できます。また、他の奨学制度との併用も可能です。

但し、2022年4月に学校教育法による日本国内の国立・公立・私立のいずれかの大学（夜間学部・通信学部および短期大学を除く）に進学することが条件です。

## 3. 応募方法

応募者は、下記の書類を公益財団法人稲垣小太郎記念奨学財団あてに、「奨学生応募書類在中」と明記し、2021年10月8日までに、学校長を通じて提出してください。（提出書類は、お返しいたしません。）

詳しくは、ホームページ <http://www.kotarouzaidan.or.jp> をご覧ください。

### (1) 奨学生願書および奨学生推薦調書

この募集案内の別添用紙に必要事項を記入（ペン書）してください。

### (2) 家族の所得を証明する書類（原則として正本）

例えば、給与所得者は前年分の源泉徴収票、給与所得者以外は税務署または地方公共団体による前年分の所得を証明するもの（税務署の収受印のある確定申告書<sup>②</sup>のコピーも可）等。

### (3) 本人写真（第2次選考時に提出してください）

最近6カ月以内に撮影の上半身正面向き（縦4cm × 横3cm以上）のもの1枚。

## 4. 選考方法

### (1) 第1次選考

奨学生志望者から提出された応募書類をもとに、2021年10月31日までに選考委員会において書類選考を行います。

### (2) 第2次選考

第1次選考に合格した者について、選考委員会による面接選考（2021年11月上旬予定）を行います。選考日については決定次第ホームページに掲載しますので注意事項も含め確認ください。

### (3) 面接選考の結果

奨学生予定者を選定し、奨学生として内定した旨、本人に通知するとともに推薦した高等学校長に通知します。

なお、奨学生予定者が大学に入学したときは、直ちに「**入学したことを証する書類**」（原則として在学証明書原本、場合によっては合格通知書写）を本財団に提出してください。

## 5. 採用決定

奨学生の採用は、「**入学したことを証する書類**」を本財団に提出したときに決定します。

## 6. 給与額・給与期間

奨学金は、大学における正規の最短修業年限について月額3万5千円を給与します。

## 7. 採用人員

高校生 8名

### ■個人情報について…

ご記入の個人情報を、募集活動、財団の会報、パンフレット、奨学生に対する通信などで使用する目的の範囲内で利用させていただきます。事前に承諾を得ず、個人情報をこの目的以外には利用しません。

公益財団法人稲垣小太郎記念奨学財団  
個人情報保護管理者 事務局長 小西孝広

# 2022年度 奨 学 生 願 書

(写真を貼る位置)  (第2次選考時に 提出してください)	フリガナ							
	氏 名							
	生年月日	年 月 日 (満 歳)						
	フリガナ							
	住 所							
〒 ( ) TEL ( - - )								
他の緊急 連絡先	氏 名 (又は家族の 勤務先等) T E L ( - - )	フリガナ	続柄					
フリガナ		※全日制・定時制・通信制						
在 学 校 名	立	高 等 学 校	科 第 学 年 組					
進 学 志 望 校	第 1	立	大学 学部					
	第 2	立	大学 学部					
	第 3	立	大学 学部					
生計を一にする家族及び所得(続柄の欄に家計支持者は○印を)	就 学 者 を 除 く 家 族	同・別居	続柄	氏 名	年 齢	年 間 所 得 金 額	職 業	
		※同居・別居				万円		
		※同居・別居				万円		
		※同居・別居				万円		
		※同居・別居				万円		
	本 人 以 外 の 就 学 者	同・別居	続柄	氏 名	年 齢	設 置 者 別	学 校 種 類 別	学 年
		※同居・別居				※国・公・ 私立	※小・中・高・高専・ 大・専修・その他	年
		※同居・別居				※国・公・ 私立	※小・中・高・高専・ 大・専修・その他	年
		※同居・別居				※国・公・ 私立	※小・中・高・高専・ 大・専修・その他	年
		※同居・別居				※国・公・ 私立	※小・中・高・高専・ 大・専修・その他	年

※印欄は該当のものを○でかこんでください。  
(裏面に続く)



# 2022年度 奨学生推薦調書

氏名	在学 学校	立 高等学校 ※全日制・定時制・通信制 科第 学年
----	----------	------------------------------

学習の記録（評定別科目数を記入、定時制・通信制は第2学年から第4学年まで）

学年	評定	国語	地歴	公民	数学	理科	保健体育	芸術	外国語	家庭	職業					科目数計	推薦時の 全学年中 (又は学科毎) の席次	人中 位
第1学年	5																	
	4																	
	3																	
	2																	
	1																	
第2学年	5																	
	4																	
	3																	
	2																	
	1																	
第3学年	5																	
	4																	
	3																	
	2																	
	1																	

(注) 国語の「現代国語」及び「古典I」がともに評定5であれば「5」欄に2のように記入してください。

推 薦 所 見	<div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div>
------------------	---

上記の者を、奨学生として適当な者と認め、推薦します。

2021年 月 日

公益財団法人稲垣小太郎記念奨学財団

代表理事 稲垣ちづ子 殿

高等学校長(氏名)

職 印

※印欄は該当のものを○でかこんでください。  
(裏面にも記入してください)